

平成28年第3回江差町議会臨時会資料

資料1：江差町農業担い手育成協議会関係	…P	1
資料2：江差地域漁業振興緊急対策事業（ナマコ養殖試験種苗購入補助）の概要	…P	2
資料3：江差地域漁業振興緊急対策事業（水産物高付加価値化対策）の概要	…P	3

江差町の所有する債権の放棄について

■債権の内容

(1) 江差町産業資金

①資金貸付の目的

町内における産業団体の健全な発達を図るため、事業運営に必要な資金を貸付し、その経済活動を促進しもって住民生活の安定に寄与するとともに町産業の振興発展を図ることを目的とする。

②債務者 江差町農業担い手育成協議会（江差町字中歌町193番地1）

③保証人 連帯保証 1名

④債権額

ア 元 金 8,600,000円（平成27年10月 1日貸付）

イ 利 子 55,134円（平成28年 8月24日現在）

ウ 延滞金 495,360円（平成28年 8月24日現在）

合 計 9,150,494円

⑤利 率 年利 1.3%

⑥納期限 平成28年3月28日

(2) 江差町新規就農者等応援資金

①資金貸付の目的

町の振興作物を主たる営農作物として就農した新規就農者に対し、栽培技術・経営ノウハウ等の向上を目的とした指導体制を確立するため、実践的な現地指導に要する経費を支援することにより新規就農者の離農を防ぎ、経営安定に資することを目的とする。

②債務者 江差町農業担い手育成協議会（江差町字中歌町193番地1）

③保証人 連帯保証 2名

④債権額

元 金 6,000,000円（平成21年11月11日貸付）

⑤利 率 無利子

⑥納期限 平成31年2月28日から平成36年2月28日まで分割納付（6回）

江差町新規就農トレーニング営農モデル団地廃止事業

■事業の内容

農業者の高齢化や農産物価格の低迷など、今後益々厳しさを増すことが予想される地域農業において、「新しい農業」を実現すべく一つの方策として「いちご（高設栽培檜山方式）」の栽培を通じ、新たな農業担い手の育成・確保を図るため設置した『江差町新規就農トレーニング営農モデル団地』（以下「モデル団地」という。）については、平成16年度事業開始から12年を経過し施設の老朽化が著しく進んでいることから、施設を廃止し跡地の環境整備等の支援を行う。

■事業費 8,812千円（一般財源）

■支援内容

モデル団地廃止に伴う環境整備（産業廃棄物の処分・団地内設備の撤去移動・団体清算のための会計処理等）

江差地域漁業振興緊急対策事業(ナマコ養殖試験種購入補助)の概要

＜所管課:産業振興課＞

＜補助事業＞

事業費:3,240千円

事業主体:江差ナマコ養殖研究会 【補正財源構成】道支出金:1,620千円 一般財源:1,620千円 計3,240千円

事業の必要性

スケトウダラの資源減少やスルメイカの来遊不振などによる水揚げの大幅減少により、日本海地区における漁業の低迷は著しく、漁家経営に深刻な影響を与えている。

このような状況を踏まえ、北海道では日本海地区の漁業の発展と安定及び漁業生産の向上を図るために実施する各種取組に対して補助する日本海漁業振興緊急対策事業が設立され、今般、江差ナマコ養殖研究会が主体となって実施しているナマコ養殖試験の取組のうち、種苗購入に関する部分が当該事業に採択された。

ナマコは近年、中国輸出により高値を維持していることもあり、資源や回遊経路に変動のある回遊性魚種に替わる水産資源として注目され、全道各地で種苗を放流する増殖事業が行われているが、養殖に関しては技術が確立されていないことから、継続的かつ安定的なナマコの生産・供給と漁家経営の改善を目的とした養殖試験を実施し、養殖技術の確立を図るものである。

事業の概要

■内容

江差港湾内に今年度設置する3基の浮沈式養殖生簀に投入するマナマコ種苗の購入。

■実施予定

種苗投入 10月～11月

■購入種苗数

30,000尾(1基あたり10,000尾)



【マナマコ種苗】

江差地域漁業振興緊急対策事業(水産物高付加価値化対策)の概要

＜所管課:産業振興課＞

＜補助事業＞

事業費:664千円

事業主体:活×鮮魚販売部会

【補正財源構成】道支出金:332千円

一般財源:332千円 計664千円

事業の必要性

ひやま漁業協同組合江差支所では、水産物の高付加価値化対策に積極的に取り組むべく、平成28年度から一本釣り漁業者を中心メンバーとした活×鮮魚販売部会を新たに立ち上げ、近年漁獲が伸びているブリを中心に、銘柄規格の設定、統一ロゴデザインの検討、神経締めなどの鮮度保持技術の習得に努めている。

今後も、ロゴデザインの作成や鮮度保持技術習熟のための研修実施、ブランド化対応資材の購入、販路拡大のための市場視察などを行いながら、江差ブランドの確立を目指し、漁獲収益の向上に繋げていきたいと考えている。

今般、当該取り組みが日本海漁業緊急対策事業として採択され、補助金の内示通知があったことから、早急な対応が可能となるよう予算措置を講じるものである。

事業の概要

- 内容
 - ・統一ロゴデザインの作成委託
 - ・鮮度保持技術研修の開催費用
 - ・ブランド化対応資材(専用魚箱・タグ・シール等の製作など)の購入
 - ・販路拡大のための市場視察
- 実施予定
 - 9月～3月



【ロゴデザイン(検討案)】



【氷締めブリ】